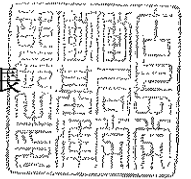


広 労 基 収 0618 第 3 号
平 成 27 年 7 月 2 日

福 山 市 長 殿
(公共工事発注部局長)

広島労働局労働基準部長



元請負人及び下請負人の間での労働災害防止対策の実施者及び
その費用の負担者の明確化に係るパンフレットの作成について

労働災害防止対策をはじめとする労働行政の推進につきましては、日頃より格段のご理解、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

建設業における労働災害の防止を図るため、厚生労働省では、「元方事業者による建設現場安全管理指針」(平成7年)により、請負契約における労働災害防止対策の実施者及びその経費の負担者等の明確化等を指導してきましたが、これに加え、平成25年度を初年度とする第12次労働災害防止計画において、建設業の発注者に対し、施工時の安全衛生を確保するための必要な経費を積算し、また、関係請負人へその経費が確実に渡るよう、国土交通省と連携して対応することとしています。

また、平成26年度に公共工事の品質確保の促進に関する法律が改正され、基本理念として、下請契約を含む請負契約の適正化と公共工事に従事する者の賃金、安全衛生等の労働環境改善が追加されました。これを受け、国土交通省では平成26年10月に「建設業法令遵守ガイドライン—元請負人と下請負人の関係に係る留意点—」を改訂し(以下「改訂ガイドライン」といいます。)、労働災害防止対策の実施者及びその経費の負担者の明確化についての考え方を示しました。

今般、厚生労働省及び国土交通省では、改訂ガイドラインの概要をまとめたパンフレット「安全な建設工事のために 適切な安全経費の確保が必要です」を別添のとおり作成しましたので、貴市におかれましては、これを活用し、改訂ガイドラインに基づき、元請負人(いわゆる「一次下請」以下の下請であっても、建設工事の下請契約の注文者となる場合、「元請負人」となります。)、下請負人の間で、労働災害防止対策の実施者及びその経費の負担者の明確化を図られるよう指導するとともに、公共工事の経費の積算に当たっては労働災害防止のために必要な経費を盛り込むよう要請します。また、組織下公共工事発注部局に対しても、周知いただくよう併せて要請します。

本パンフレットは、厚生労働省のホームページからご活用いただけますので申し添えます。

